

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 キッズ・トーン

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		個別指導の為。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	有資格者が配置されています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	活動に十分なスペースを確保し、バリアフリー化されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	普段からコミュニケーションをとることを心掛け、常に共有するよう努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年、必ず実施し、改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	フェイスブック、ブログ、HPで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月2回実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者との連携は十分に取れています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	支援内容に合わせたアセスメントシートを作成しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	相互協力のもと、行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	保護者の意向を共有し、利用者さん一人一人に合った内容を立てている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	休日、長期休暇は事前中から利用できるように努め、季節によって、イベント等を取り入れる工夫を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用者さん一人一人に合った内容を考え計画を立てています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	指導前に必ず打ち合わせをし、共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	必ず打ち合わせをするのと、休みの日のスタッフの為に共有できるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	必ず記録を残しています。気になることはすぐに報告し、改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	保護者さんと連携を取り、利用者さんの状況を聞くように努めています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	一人一人の個性や性格に応じて支援するように努めています。		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	他の事業所と連携し、予定を調整して参加させていただいています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	支援会議などで情報を共有するように努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	Tel、手紙で活用情報の共有を図っています。訪問有。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	利用者さんがスムーズに移行できるように情報共有に努めています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	モニタリングの電話で相談あり。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		行っておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	指導の後に必ず子供の様子をできるだけ詳しく話し合うように努めています。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	定期的に行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約の際に対面で読み上げを行い、説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	常に寄り添いながら、一緒に悩み、一緒に前に進んでいけるよう、心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	『musubi』の活動を通して、支援を行っております。フェイスブック、ブログでも周知しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	何か要望があれば、すぐに対応できるようにしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	LINE、フェイスブック、ブログ、HPを活用しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	注意しています。皆で徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	毎回、ご利用時、情報共有を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	就労支援体験・畑の会	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	周知しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	防災リーダーを配置し、事業所の職員全体での訓練をおこなっています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事業所職員の研修として、機会を設け、適切な対応について話し合っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	保護者との対面説明お話しする機会を持ち、お互いに身体拘束する場合について確認しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		提供なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	気づいたことはすぐ報告書に記入し、口頭でも伝えるようにしております。	